

2023.04.13. 木曜礼拝 何があっても真理を語る

エゼキエル 2, 3 章

JD ファラグ牧師

共に祈りましょう。主よ、私たちに礼拝の仕方を教えてくださいませんか？ 主よ、どうか私たちに示してください。これは演出ではありません。好きな曲を聴きに來ているわけではありません。私たちはバンドを見に來るのではありません。これはショーではありません。私たちに真の礼拝に導いてください。主よ、この時代には多くのものが私たちの注意を引きつけ、私たちに遠ざけようとしています。しかし、私たちはあなたに頼りたいのです。主よ、私たちに教えてください。礼拝することを私たちに教えてください。私たちがあなたを見つめ、あなたの御名を永遠にほめたたえることができるように助けてください。このことを偉大なイエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。良かったです。カポノ、ありがとう。皆さんこんばんは、ようこそ。今夜はお元気ですか？ 良いですか？ 祝福されてます？ オンラインの皆さんも歓迎したいと思います。参加下さり嬉しいです。エゼキエル書を始めてから、2週間が経ちました。1章を終えました。今夜は2章と3章を取りあげます。2章はもちろん、ある種、短い章です。しかし、実際には、一つになっているようで、1章はこんな感じで…原文には章の区切りがなかったことを理解しなければなりません。ですから、後から加えられました。感謝な事ですが。つまり、参考になる点はあるのですが、これは1章から始まる、ある種の継続的な内容であり、神がエゼキエルを召されるために必要であると知っておられた、壮大で輝かしい幻です。そして、2章に入り、3章へと途切れることなく、美しく続いていきます。今夜は楽しみが待っています。毎週木曜日の夜に、そう言っているのは分かっていますが、そうですね？ ええ、いいでしょう、それがあなたの宿命です。皆さんは天に宝を積んでいますよ。祈りましょう。カポノ、本当に良い祈りでした。本当にありがとう。

天のお父さま、私はただ、カポノの心からの賛美と祈りに続けて、同じようにあなたの恵みの御座に近づきたいのです。主よ、あなたが私たちに礼拝を教えてください、また、あなたの御言葉によって私たちに教えてください、ただ祈ります。これは命のパンであり、ある人にとっては命です。私たちに生命線です。今夜、私たちはそのようにあなたのもとに行きます。多くの人々が今夜、傷つき、苦しみ、疲れ、重荷を背負っているかもしれませんが、あなたは、わたしのもとに來なさいと言ってくださいます。私たちは皆、疲れ、重荷を背負っており、あなたが私たちの魂の必要を満たして下さり、私たちに休息を与えてくださいます。あなたの荷は軽く、あなたのくびきは負いやすいです。私たちの重荷をあなたに委ね、私たちの思い煩いをすべてあなたに委ねることができるのは、あなたが私たちに気にかけてくださっているからです。主よ、今夜はあなたが私たちに見せられたいもの、私たちの人生に語られたいものがたくさんあることを知っています。あなたがそうして下さるために、私たちはあなたに集中したいと思います。ですから主よ、私たちはこの時間を捧げたいのです。これは私たちの時間です。私たちはとても大切にしています。私たちが共に過ごし、互いに交流し、礼拝をする時間です。そして今度は、あなたとあなたの御言葉の中で過ごす時間です。主よ、この時間に感謝します。あなたの御言葉に感謝します。私たちの時間を祝福してください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

それでは。今夜は2つの章です。神は、エゼキエルの召しに関して、エゼキエルにその準備をさせておられます。さて、1章をあと数回取りあげるかもしれません。なぜなら、神はエゼキエルが、エゼキエルに待ち受けていることのために、ご自分の栄光の壮大な幻を必要とすることを知っておられたからです。

今、彼は華やかなバビロンにいることを念頭に置いてください。その空中庭園だけで、世界の七不思議のひとつに数えられています。それは簡単なことでしょうが、悲しいことに、多くのユダヤ人はバビロンに魅了され、居心地が良くなり、70年が過ぎてもエルサレムに戻りたがらなかったのです。ところで、エゼキエルはこの当時、若者でした。バビロンに捕らわれる前、神殿で祭司として仕えるために事前に訓練を受けていたことから、20代前半という説もあるようです。神は彼のために別の計画があらわれました。だから、神はエゼキエルへの計画があらわれ、神は今、彼に用意しているもののために、彼を備える必要があらわれます。エゼキエルのために何を用意しておられるのでしょうか？ 非常に強烈なミニストリーです。もし彼が自分の人生に対する神の召しに立ち、揺るぎない希望を持つために、神のご栄光を現すこの幻の力強さが必要です。これは彼を準備するためのものであり、私たちの人生において神がなさることです。神は必ず私たちのために用意されていることのために、私たちを備えてくださいます。神は、私たちの人生に与えられた召しに対して、私たちが準備不足であることを決してお許しになりません。それは、神がどのようなお方であるか、神のご方法と矛盾します。だから、この召しは…これを聞いてください。エゼキエルが、何があっても嘆き、うめき、悲痛の真理を語らなければならないものとなります。わお…「嘆き、うめき、悲痛、それがわたしがあなたを召すものです。」「本当ですか？他に選択肢はありませんか？他に私を召せるような、ミニストリーはありませんか？嘆き、うめき、悲痛の真理を語るというミニストリーではなく。」誰がそんなことしたいですか？

「エゼキエル、分かっています。心配しないでください。わたしがあなたを召すことのために、わたしはあなたを備えます。」さて、これから見るように、神は柔らかい心を持ったエゼキエルに厳しいメッセージを与えようとされていて、それは人々がそれを拒否するか、受け取るかを前提にするものではありません。このことは、私たちの理解にとって非常に重要なことです。この2つの章を通して、このことが出てきます。では、2章1節に入りましょう。

#### —エゼキエル 2:1—

その方は私に言われた。

「人の子よ、自分の足で立て。…」

さて、1章のエゼキエルは、主の御前にひれ伏している状態でした。彼は、この主のご栄光の幻と啓示の中で、ただ主の御前にひれ伏していました。そして今、主はエゼキエルに言われます。「自分の足で立ちなさい。立ち上がりなさい。」

…わたしがあなたに語る。

#### —エゼキエル 2:2—

その方が私に語りかけると、霊が私のうちに入り、私を自分の足で立たせた。そのとき、私は自分に語りかけることばを聞いた。

この最初の2節だけで、聖霊の可能性と力について、私たち自身の生活に深く適用することができます。言い換えれば、神はそれを行うために必要なものを備えることなしに、私たちを召されることは決してなさいません。なぜなら、神の召しは、神が可能にされるからです。さて、このエゼキエルの言う「聖霊が内に入る」とは、「聖霊が彼を満たす」ということです。これは聖霊による洗礼です。聖霊は、ただ内に宿っているだけでなく、聖霊が彼に力を与えられ、彼にはそれが必要なのです。聖霊は私たちに力「デゥナミス」を与えられ、英語では「ダイナマイト」です。神は私たちに召されることを行うために、私たちに力を与えられます。何度も言うようですが、エゼキエルにはあらゆる力が必要になるため、神は彼に

力を与えられます。

#### ーエゼキエル 1:3ー

その方は私に言われた。「人の子よ。わたしはあなたをイスラエルの民に、わたしに反抗する国民に遣わす。彼らもその先祖たちも、今日までわたしに背いてきた。

この3節、この1節に、神がエゼキエルに「人の子」と語りかける93回のうちの1回があります。なぜでしょう？考えがあります。神は、非日常を人にもたらすために、人の中の平凡な人を遣わされています。さて、ここで間もなく、より具体的な説明があります。

#### ーエゼキエル 2:4ー

彼らは厚かましく、頑なである。…

さて、これは重複ではありません。この2つには区別があります。うなじが硬く、頑固というイメージがあります。皆さんには関係ないことは分かっていますよ。私は頑固さの博士号を持っています。頭でっかち、うなじが硬い。皆さんには関係ないことは分かっていますが、自分自身に語っています。しかし、「厚かましい」の意味はもっとこんな感じです。「頭が固い」ではなく、間もなくこのことをさらに見ていきますが、うなじが硬く、心が硬いと、こうなります。頑強に抵抗します。そして、譲りません。こんな風に言ってみましょう。それは「教えられないこと」です。あえて言うなら、「折れないこと」。主から反抗を叱責されたのに、主の御前に折れてへりくだるのではなく、主に反抗して、足を踏み入れるのです。わお...これがどういうものか、より良く分かりますね。以前にお話ししましたが、皆さんが飽きないことを願います。本土でのことです。私が最初に立ち上げた教会では、頭文字をとって、「FAT」と呼んでいて、これは、礼儀正しくないと思いますが、「FAT」「FAT」

F : faithful (忠実) の頭文字、

A : available (可能) の頭文字、

T はもっと重要で、teachable (教えを受ける) の頭文字です。

私たちは、「テトスへの手紙」「テモテへの手紙」を牧会書簡と呼んでいます。長老の資格が定められている箇所です。指導者の立場になるには、聖書的に満たさなければならない一定の基準があります。残念なことに、その翻訳ではうまく表現できていません。私たちの翻訳では、「able to teach/教えることができる」と表現されているからです。それは、長老が教えることができれば資格があるということではありません。それは、「teachable/教えを受ける」人が資格があるということです。分かりましたか？長老は人から教えられる存在でなければなりません。教えを受けなければなりません。最も素晴らしい教師は、人から教えを受ける教師です。そしてこれは、その対極にあるものです。彼らに何も教えることは出来ず、彼らは何も受け取ることはせず、実際、彼ら是对立したり、訂正されたり、叱責されたりするたびに、よりうなじを硬くします。

「ですから、エゼキエル。...わたしはあなたを彼らに遣わす。...「主よ、どうもありがとうございます。」

...あなたは彼らに『神である主はこう言われる』と言え。

5節に注目ください。

#### ーエゼキエル 2:5ー

反逆の家だから、聞く聞かないに関わりなく、彼らは自分たちのうちに預言者がいることを知らなければならぬ。

言い換えると、彼らは知ることになります。「エゼキエルよ、個人的に捉えてはいけません。あなたの子

いではありません。」人の反応がいかに自分に関係ないかというのは、強調してもしすぎることはないと思います。責任は私たちにはありません。このたとえば、私たちが親しみを込めて

「種まきのたとえ」と呼んでいるものです。(マタイ 13:8-11)

本当は、農家が種を撒く「土壌のたとえ」の方がいいんですが。私たちが御言葉を広めるように、どのような土壌に種が落ちるかは、私たちの責任ではありません。岩場に落ちるかもしれないし、茨や雑草が阻むかもしれないし、よく踏み固められた道に落ちるかもしれません。あるいは、しなやかな土の上に落ちて、発芽して芽が出るかもしれません。でも、それはあなたの責任ではありません。つまり、真理を語るときにも、誰かが受け取ってくれるかどうかで、尻ごみしたり、萎縮したりしてはいけないということです。私が...もし私がそうしたら...今、ここに立っていることはないでしょう。もし私が卵の殻の上を歩くように、波風立てないように確かめ、怒らせないようになど、好きな比喻を使ってください。まず確実に起こることが一つあります。私のメッセージは、2分くらいの短いメッセージになるかと思います。それでは受け取ってもらえないので、かなり削らなくてはならないからです。受け取ってもらえません。人々は拒絶し、聞きたくありません。拒否します。だから、私は言わない方が良いのです。特に聖書預言アップデートについては、私の時間を節約してくれましたね。とにかく、私の問題はもう十分です。

—エゼキエル 2:6—

人の子よ。あなたは彼らや彼らのことばを恐れるな。あざみと茨があなたと一緒にあり、サソリの間に住んでも、恐れるなそのことばを恐れるな。彼らの顔におびえるな。…

だから彼らは、ただ私の悪口を言っているわけではありません。彼らは私を睨んでいるんです。彼らの言葉、表情にも。

…彼らは反逆の家なのだから。

では、少し一緒に頑張ってください。よろしければ、私を甘やかしてください。まず、茨とあざみとサソリ。それらは傷つけ、刺します。以前にも見たことがあります。人への恐れに支配されてしまうという原則に関連して、もう一度繰り返す必要があるように思います。箴言では、それは畏だと書かれています。(箴言 29:25)

つまり、主を恐れるのではなく、人を恐れるようになるのです。ある人が賢明に言ったように、「人を恐れるなら、神を恐れていない。神を恐れるなら…！人を恐れない。」唾飛ばしてすみません。強調してただけです。考えてみてください。

「私は主を恐れる。あなたを恐れない。あなたがどう思うかなんて、怖くありません。私はただ自分のことを考え、主がどう思われるかを恐れています。観客は一人です。これは流れを変えます。というのも、ほら、これでプレッシャーがなくなりました。なぜなら、人々の反応や表情、批判を気にすることはないからです。人々は陰口を言い、偽りの告発をします。サソリのように刺されて痛いかもしれないし、茨やあざみのように切れるかもしれません。私たちは人間です。しかし、真実である以上、メッセージを変えるつもりはありません。何があっても私は真実を語ります。好きなだけ、そんな目で見てください。好きなだけ、私のことを悪く言えばいい。そう、「これ以上の嘘はない」という言葉を歌にしたものです。「棒や石で骨を折られても、言葉で傷つけられることはない。」まさか。私はより良く言い、より良く歌うことができると思います。「棒や石は私の骨を折るかもしれないが、言葉は私を切り裂くことができる。」そして、言葉だけでなく、ただ表情だけということもあります。何のことか分かりますね？ だから私は、この説教壇の後ろにいる牧師として、つまり私の特権として、あなたの顔を見ることができるとい

特別な利点があります。「自分の事を言われている！」と思われないように、下を向きたいと思います。

「だって、実は、居眠りをしていたんです。」私はこう言われるのが好きです。「ごめんなさい、牧師さん。私はただ、その、あくびをしていて、ちょっとウトウトと。。。」

私は誰の目も見えていませんよ、どういうものか分かりますね？ 霊的なことだと思います。まぶたが、突然、重くなるんですよね？ それは敵です。神があなたの人生に語っておられることを、あなたに聞かせたくないのです。そして、御言葉を読んでみると、よく分かります。いいですか、これこそ不眠症の特効薬です。聖書を引っ張り出せばいいのです。ええ、本当です。祈りも同じことです。なぜかというと、祈ろうと足を向けたとき、突然、つまり、どこからともなく眠気が突然襲ってくるのです。しかし、リモコンに手を伸ばすと...おお！（目が覚める）そうですね？ そうじゃないですか？ 大丈夫です。いいんです。自分自身のことを話しています。分かりました。というわけで、私が言いたいことはここです。私がここに立っているとき、下を向いていますが、皆さんの顔が見えます。ボディランゲージが全てを物語っています。私はまだ下を向いていますが、しかし、皆さんのことではありませんが、私が何かを教える時、本当に大切なことを、厳しい教える時、教えるのはもちろんのこと、受ける側としても厳しい教えます。これがあまり居心地がよくなく、受け入れられないような相手と目を合わせるという致命的なミスをしてしまいます。それを最もよく表していると思われる例えを聞いたことがあります。

「犬の群れに石を投げ入れると、一番大きな声で吠えるのは、一番強く当たった犬である。」分かりますね？ これはあらゆる意味で聖書預言アップデートであることをお伝えしておきます。私はここに立って、こう考えます。おお、主よ、私は…私は語らなければなりません。それは真実です。私はあなたを恐れませんが、個人を指しているわけではありません。広い意味です。意地悪に聞こえますが、本当にどう思われても構いません。もし、立ち上がって外に出て、下品で悪質なメールを送ったり、SNS に下品で悪質な投稿をしたりしたいのなら、どうなると思いますか？ あなたは、そのことについて弁明することになります。私たちのソーシャルメディアチームがそれを削除したり、あなたをブロックしたりしても、彼らはあなたに恩恵を与えているのです。なぜか分かりますか？ あなたがそうするとき、神はそのことに目を留めてくださるからです。それをソーシャルメディアに残しておく、同胞の間に不和をもたらすという損害が生じますが、それはあなたの責任です。ですから、それは恵みです。もし私たちがあなたを削除するなら、あなたに恩恵を与えているのです。このことを考えていました。この話をするつもりはなかったのですが、すでにしてしまいました。私はただ考えていました。大丈夫ですか？ 3章を読んでいくのは分かっていますが、この間、こんなことを考えていました。思い出せません。主は私の心をご存じですが、私は今までの人生の中で、誰かの悪口や下劣なことをソーシャルメディアに投稿した記憶がありません。つまり、私のソーシャルメディアは、やってくれる人がいるのですが、フィードは…かなりつまらないと思います。ただ、イエスと聖書と、、何もなく、ミームはありません。自分がミームなんだと思います。—（笑）— ええ、それはただ…私が開いてあちこちに放り出したこのファイルを、このようにちょっと閉じさせてください。あなたがそうする時、何をやっているかということ、こう言っているのです。

「私のドラムのビートに合わせて踊ってください。私の周りでは、気を使って欲しい。私の反応がどうなるのか、恐れて欲しい。」う～、それは、どうなんでしょう？ 何が悲しいのかということ…、本当にこれで締めくくります。牧師たちです。どうか牧師のために祈ってください。というのも、この圧力は誰にも理解できないものだからです。私たちは好かれたいからです。私たちが真実を語ることで、その可能性が



危うくなることもわかっています。どんな反応が返ってきても、人々が立ち上がり、歩き出しも、良いのです。人々が私に憎悪のメールを送って来ようが、良いのです。昔ながらの方法で、封筒に切手を貼って手紙を送り...かたつむり郵便、そう呼ばれています。そして、本当に面白いのは、手紙に署名していないものです。なるほど。私はそれらのファイルがあります。ゴミ箱と呼ばれています。ええ、本当です。

「エゼキエルよ、彼らを恐れてはならない。あなたはわたしを恐れなさい。エゼキエルよ、あなたはわたしのドラムに合わせて踊りなさい。あなたは彼らを恐れず、あなたはわたしに対して畏敬の念を持ち、完全に恐れていなさい。あなたは、彼らがどう思うかを気にせず、わたしがどう思うかだけを気にしなさい。そして、あなたの人生に対するわたしの召しに忠実でありなさい。」

これが6節です。

「わお、これはたった1節だけだったんですね。うまく行ってませんね。」7節を取りあげます。

—エゼキエル 2:7—

...聞く聞かないに関わりなく、あなたはわたしのことばを彼らに語れ。

これを何度も何度も見ていきます。「エゼキエルよ、関係ありません。相手の反応は関係ありません。」

...彼らは反逆の家だから、

これを何度か見ることになります。

—エゼキエル 2:8—

人の子よ。あなたは、わたしがあなたに

語ることを聞け。反逆の家のように、

あなたは逆らってはならない。あなたの口を大きく開けて、わたしがあなたに与えるものを食べよ。」

「取り入れなさい。」これが巻物を食べることで、例えるなら...これが役立つかどうか、見てみましょう。

この言葉を聞いたことがある人は多いでしょうし、自分で言ったことがある人もいられるかもしれません。

「ああ、その本を食い入るように読んだよ。」つまり、エゼキエルがやろうとしていることは、これを食べ尽くし、取り込み、自分の体の一部となるくらいに、消化していきます。それがこの2つの節で起きていることです。

—エゼキエル 2:9—

私が見ると、なんと、私の方に手が伸ばされていて、その中に一つの巻物があった。

—エゼキエル 2:10—

その方はそれを私の前で広げた。それは表にも裏にも文字が書かれていた。そこに嘆きと、うめきと、悲痛が記されていた。

おお、なんと... 嘆きと、うめきと、悲痛。それを、彼は取り込み、食べ尽くし、消費し、消化しなければなりません。そうです。2章は3章へと途切れることなく移行し、3章の意味をより深く理解することになります。3章1節。

—エゼキエル 3:1—

その方は私に言われた。「人の子よ。あなたの前にあるものを食べよ。この巻物を食べ、行ってイスラエルの家に告げよ。」

—エゼキエル 3:2—

私が口を開けると、その方は私にその巻物を食べさせ、

—エゼキエル 3:3—

そして言われた。「人の子よ。わたしがあなたに与えるこの巻物を食べ、それで腹を満たせ。」私がそれを食べると、それは口の中で蜜のように甘かった。

これはイスラエルの甘美な詩人、ダビデです。詩編 119 編 103 節です。お聞きください。

#### 一詩編 119:103一

あなたのみことばは私の上あごになんと甘いことでしょう。蜜よりも私の口に甘いのです。

ああ、これは蜜のように甘い、いや、蜜より甘い。今までの人生で味わったことのないような甘さです。

「おお、それは何ですか？」神の御言葉です。では、ここで何が起きているのでしょうか？ エゼキエルはいのちのパンを食べていて、

「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる」(マタイ 4:4)

彼は命のことば、命のパンで自分を満たしています。それは彼の魂にとって甘いものです。繰り返しますが、神はそのために彼を準備され、彼のために準備しておられます。エゼキエルが持っていないものを伝えることはできないからです。どういう意味でしょう？ 私の中に神の御言葉がなければ、牧師である私はどうやって神の御言葉を教えるというのでしょうか。やってみたとしても、乾くでしょう。ズレが生じそうです。皆さんは賢いので、もし私が自分のものとしていなければ、とにかく私を逃さないでしょう。これを自分のものとしなければなりません。私のために祈ってください。神が私に語らせようとされたことを、私は自分のものにしなければなりません。私の人生において現実でなければなりません。思い出しました。少し前のことですが、説教の準備の中で、すべての教えに対して持っている頭文字について共有しました。その頭文字は「TALLY」です。私は自分の教えを集計 (TALLY) しています。

一度、このことを日曜日の朝にお話ししましたが、「TALLY」の Y を忘れてしまいました。それで、メールが殺到したんです。

「Y は何だ？ 冗談だろう？ 気になって仕方ないよ。忘れてしまうなんて！ J.D. 牧師、あなたは絶対しないけど、話がそれで、Y を忘れてしまうなんて。どうしてですか？ Y は何ですか？」

Y が何かお話ししましょう。今回は忘れませんよ。これが「TALLY」です。

T : Is it True? (これは本当か?)

これは本当か？これは真実か？

A : Is this Applicable? (これは適用可能か)

なぜなら、私はここに立って、ただ情報を与えるだけではいけないからです。知識は情報ですが、知恵はその情報を適用することだと言われています。これも頭文字をとって、「REA」です。

Read it, Explain it, Apply it./読む、説明する、適用する。

私はここで、大急ぎで、すべての聖句に目を通すことができ、もしあなたがここから出て行くときに、「ああ、かっこよかった」と思うなら、私にとってはどんな意味があるのでしょうか？ 個人的な適用は？ 私はあなたに大変失礼なことをしました。ですから、それは適用可能なのか？

L : 一つ目の L は、Is it Loving? (愛があるのか?)

愛ゆえの愛による真理なのか？ それは、愛の神をよく表しているのか？ 神が愛を持っておられるのではなく、神は愛です。愛があるのか？

二つ目の L : これは重要です。Is it Liberating? (自由になるのか?)

説明します。冒頭の祈りで、イエスが

「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い」と言われたことに触れました。誰かに重荷を負わさ

れたとき、主がそんなことなさないで、主ではないことは確実です。ヨハネは言いました。

「主の命令は重荷とはなりません」(Iヨハネ 5:3)

主のくびきは負いやすく、荷は軽いのです。(マタイ 11:28)

ヤコブが言うように、上からの知恵は受け入れやすく、

また私が真理について知っているのは、何があっても、真理はあなたを自由にするということです。

(ヨハネ 8:32)

壊せない原理です。あなたが逆らなら、それがあなたを壊わします。これを見てください。真理を聞いたとき、そこには自由が生まれます。そして逆に、嘘を聞いたとき、自由はありません。すべて縛られてしまいます。だから、私を自由にするのは、自由にする真理なのです。私を縛ることはありません。ですから、「それは自由にするのか？」次に、Yです。ドラムロールお願いします。お待ちください。

Is it You? (それはあなたか?) これを自分のものにしてしているのか? それとも、切り離されていないでしょうか、牧師さん? そこに立つとき、これはメモからだけなのか、心からなのか? なぜなら、人々は、特に皆さんは、正当に、そして感謝なことに、私の教えという祭壇の上で、私の足元に火をつけてくれるからです。しかし、私がここに来て、ただ、教えをやり遂げるまでごまかそうとすれば、あなたもわかるはず。あなたには分かるでしょう。

「ああ、彼はただ自分のメモを読んでいるだけだ。彼はこのことを自分のものとしていない。」

神が彼を通して働かれる前に、神は彼の中でその働きをされていません。神は彼に語りかけ、彼を通してこの真理を宣べ伝えることができるように、このことで彼に働かれます。神は、まずあなたの中でその働きをされるまでは、あなたを通して働きをされることはできません。牧師が何を教えるかで、その牧師が何を経験しているかがわかると言われています。(JD 牧師挙手) 本当にその通りです。それは、実は良いことです。なぜなら、ここに断絶がないことを物語っているからです。つまり、私はこれを自分のものとしています。神は私の人生にこれを築き上げられました。神はこのことを私の心に働きかけてくださいました。神は私にそれを取り入れさせ、消化し、吸収させられました。私はそれを自分のものとし、私の一部となりました。だから、リアルなんです。そう見えることもあるかもしれませんが、私はここに出て来て、ただおしゃべりしているわけではありません。

—エゼキエル 3:4—

その方はまた、私に言われた。「人の子よ。さあ、イスラエルの家に行き、わたしのことばをもって彼らに語れ。

—エゼキエル 3:5—

あなたは、難しい外国語を話す民にではなく、イスラエルの家に遣わされるのだ。

—エゼキエル 3:6—

あなたを、そのことばを聞いても分からないような、難しい外国語を話す多くの民に遣わすのではないもし、わたしがこれらの民にあなたを遣わしたのなら、彼らはあなたの言うことを聞いたであろう。

分かりましたか? 「エゼキエルよ、わたしはあなたをイスラエルに遣わす。彼らは受け入れません。もしわたしがあなたを異邦人の国々に遣わすなら、彼らは受け入れるでしょう。」それは真実ではないですか? それが神が仰っていることです。「もし、わたしが外国人にあなたを遣わしたら、彼らは耳を傾けたでしょう。しかし、外国人に遣わすものではありません。わたしのことばを語るために、あなたをイスラエルの家に遣わします。」何かわかりませんが、たぶんこんな比較ができるだろうと思います。かつては



ここアメリカで、自分たちが世界を伝道していた時代がありました。アメリカでは、他の国、外国に比べて福音を伝えるのが難しいのです。まあ、悲しいことですが、それが真実だとお伝えしておきます。

—エゼキエル 3:7—

しかし、イスラエルの家はあなたの言うことを聞こうとはしない。…

忠告をありがとうございます。「しかし、エゼキエルよ、個人的に受け取ってはいけません。彼らがあなたに耳を傾けないのは…」

…彼らがわたしの言うことを聞こうとしないからだ。…（これが理由です）…イスラエルの全家は（また出てきます）額が硬く、心が頑だからだ。

—エゼキエル 3:8—

見よ。わたしはあなたの顔を、彼らの顔に合わせて硬くし、あなたの額を、彼らの額に合わせて硬くする。かっこいい！

—エゼキエル 3:9—

わたしはあなたの額を、火打石よりも硬いダイヤモンドのようにする。彼らを恐れるな。彼らの顔におびえるな。…

ああ、彼らはまだ私を見ているんですね。

…彼らは反逆の家なのだから。」

どうか、少しだけ、このことで時間を取らせてさい。これは私の心を限りなく喜ばせるものです。ここで神が何をなさっているか分かりますか？ 神はエゼキエルに聖なる硬い額を与えておられます。ええ！彼は額ぶつけ合うために、硬い額を必要としています。なぜなら、彼らの額が硬いからです。神がエゼキエルにこう言うておられるようです。

「彼らはの額は硬い。わたしはあなたの額をさらに硬くする。」よし！それが私が言っていることです。それだけでなく、顔も。顔に関して、いくつか補足できるでしょう。あなたは私の顔を強くしてください？ どういう意味でしょうか？だって、私にはすでにかなり強い…どういう意味でしょうか？つまり、見た目、表情です。力強さが出てきます。なぜなら、相手の視線は…、その視線が分かりますね？こんな視線です。目を細めて、鼻を高くして、胸を張って。どうですか？続けましょうか？ポイントは分かりましたね？ まあ、そういう目で見られるんですよ。しかしここが重要です。

「エゼキエル、わたしはあなたに彼らを見つめ返す視線を与える。」これは睨み合いになりそうですね。私はこの顔であなたを睨みつけてやる。—（笑）— 神が私の顔をこのように造られました。だから、神に相談してください。額が強い。額をぶつけ合いたい？ やってやろうじゃないか！ あなたは自分の額が硬いと思うのですか？ ははは！（JD 牧師、自分の額を触りながら）神は私の額を…（笑）ええ、ここで止めておきましょう。皆さん楽しみ過ぎですよ。

—エゼキエル 3:10—

その方は私に言われた。「人の子よ。わたしがあなたに告げるすべてのことばをあなたの心に納め、あなたの耳で聞け。

—エゼキエル 3:11—

さあ、捕囚になっているあなたの民のところへ行き、彼らに告げよ。彼らが聞いても、聞かなくても、『神である主はこう言われる』と彼らに言え。」

訳すと、「何があっても、あなたは語りなさい。」さて、「わたしがあなたに与える語るべき言葉はこれで

す。それを捕囚の民に伝えなさい。」捕囚の民とは誰でしょう？ エルサレムで、捕虜となった民を思い出してください。彼らはまだ、バビロンにいて、こう言っている偽預言者たちの言葉を聞いています。

「おい、君たち、あんまり落ち着かないように。私たちは長くここに居ることはない。」違います。エレミヤ、今はエゼキエルが... ところでこれは、神がエゼキエルがダニエルとともにバビロンに捕らえられることを許された理由の一つです。神は、嘘を語る偽預言者たちの中で真実を語るエゼキエルとダニエルを、バビロンに必要とされました。真実はどうだったのでしょうか。

「わたしはあなたに、硬い額と強い顔を与えなければなりません。すでに持っているようだが、とにかく。わたしはあなたと一緒にいる捕囚の民に、彼らが拒否しようが、聞き入れようが、真理を語るためにあなたを遣わします。なぜなら、彼らが聞いているのは、「あなたは 70 年もここにいない」と伝えていた偽預言者たちからの偽りだからです。

「落ち着かないように。もうすぐエルサレムに帰るんだから。」

ところで、この時点では、神殿はまだ残っています。これは 70 年の捕囚の初期で、エゼキエルはまだ若いです。民はまだそれにしがみついている、そこでエゼキエルが召された任務はこれです。

「あなたは彼らのところに行き、この真実を伝えなさい。彼らがそれをどうしようと、この真実を語るなければなりません。」

12 節。これは興味深いです。

—エゼキエル 3:12—

それから、霊が私を引き上げた。そのとき私は、うしろの方で、「主の栄光が御住まいでほめたたえられますように」という大きなとどろきを聞いた。

—エゼキエル 3:13—

それは、互いに触れ合う生きものたちの翼の音と、そのそばの輪の音で、大きなとどろきになっていた。

これはなおも 1 章の神のご栄光、神の御座と輪、神の戦車の幻です。これらの生き物は、まさに言葉では言い表せないほど、計り知れない、理解しがたい、驚くべき、息を呑むような、見事なものでした。これを覚えておいてください。「霊が私を引き上げた」このことにすぐに戻って来ます。

—エゼキエル 3:14—

霊は私を持ち上げ、私を捕らえた。それで、私は...苦々しい思いで出て行った。...

待ってください、甘さはどうしたのですか？ いえ、苦味です。

...私は自分の霊の憤りを覚えつつ、苦々しい思いで出て行った。主の御手は私の上に強くのしかかっていた。

つまり、エゼキエルはこう言っています。不本意ながら、御霊に持ち上げられましたが、彼は離れたくなかったのです。

「私は離れたくありません。冗談でしょ？ これは美しい幻です。それがどんなものか分かりますか？ 山頂での体験、デボーションしている時...ただただ主を礼拝するのです。あなたは主を賛美しています。終わってほしくないのです。でも、仕事に行かなければなりません。だから、帰りたくなくて、離れるのが嫌になります。エゼキエルの場合は、彼が帰りたがらなかったのも、聖霊が彼を立ち上がらせて連れて行ったのです。彼はそのまま留まっていたいと思いましたが。彼を責めることはできません。ここで、いくつか理解する必要があります。第一に、エゼキエルの苦々しさと熱い憤りの理由が語られていないことに関係します。ところで、この「自分の霊の憤り」とは、「燃える熱い怒り」という意味です。エゼキエ

ルは怒り、苦々しい思いでした。なぜでしょうか？ その理由は書かれていません。私には、理由があって、神によって省略されたように思えます。これを適用し、退けないようにするためです。

曖昧な「肉のとげ」を持つ使徒パウロを思い浮かべます。(Ⅱコリント 12:7)

それだけに、さまざまな憶測が飛び交います。しかし、聖書が沈黙するとき、私たちは沈黙したほうがよいでしょう。その肉のとげが何であったかが具体的に分からないのは、神の意図によるものです。なぜでしょうか？ なぜなら、もし私たちがその肉のとげが何であるかを知っていて、それが私たちの人生の中で葛藤するようなものでなかったとしたら、「私の人生には当てはまらない」と、退けてしまいます。反対に、選択肢が残されていれば、私たちは何かで空白を埋めることができます。なぜなら、私たち全員にとげがあるからです。そして今、それを退けるのではなく、適用を始めることができます。あなたにとってのそのとげは、私にとってのとげとは違うかもしれないからです。とげの目的は、私たちに謙虚に主に頼らせることであり、そうすれば、最終的に、主がその聖なる御名によって、すべての栄光を得られるためです。それは、とげが祝福になるときの目的です。だから、エゼキエルが何を苦々しく思い、怒っていたのかが具体的に語られないのは、自分の人生に当てはまらなければ、それを退けてしまいがちだからだと思います。もう一つは、エゼキエルの上に主の御手が強くのしかかっていることに関連します。さて、これは聖書のいたるところで見かける表現です。「主の重い御手」「主の御手」擬人化したもので、自分が賢く思えるような言葉です。それは、神を人間の言葉で表現することを意味します。ですからエゼキエルは、主の御手が自分の上に強くのしかかったと言っています。では、それはどういう意味でしょう？ これは、躊躇するエゼキエルを圧倒する主の力、あるいは躊躇するエゼキエルを力づける主の力ということなのでしょう。個人的には両方だと思います。それは、躊躇するエゼキエルに、どんなに辛くても、どんなに困難でも、どんなに拒絶されても、主が圧倒的な強い御手を差し伸べて、彼を行かせられるということです。あなたには、主があなたをただ圧倒し、覆い尽くすような強さが必要だと思います。しかし、それは、主があなたを圧倒するだけでなく、あなたを力づけることも含まれているのです。神はエゼキエルにこう言っておられます。「エゼキエルよ、まず第一に、わたしはあなたを可能にし、力を与えます。なぜなら、聖霊があなたの上において、あなたの中に入り、あなたを満たしたので、今あなたの人生は、イエスが言われたように、水が溢れ出るような人生となったからです。(ヨハネ 7:38-39)

水の激流がどれほど力強いかが存じですか？ 洪水が起きたときのニュースを見たことがありますか？ その水、激流は力強く、家屋を爪楊枝のように下流へと運んでいきます。本土では自然の力を利用し、電力を、その力、水力によって発電します。水の力を利用するために、巨大なダムを建設します。水の力で電力を生み出すのです。私はとてもシンプルで美しい描写になりそうなものを、完全に複雑にしています。賜物なんです。理解できましたか？ それほど、水の力は強いのです。それが、ここでエゼキエルに起こっていることだと思います。なぜなら、彼は常に思い出す必要があるからです。というのも、彼は権力者、強く、力のある人々に向かっていくからです。神は言われます。

「エゼキエルよ、わたしはあなたをさらに強くする。ええ、彼らは力のある者たちだが、わたしはあなたをさらに強くし、わたしの力によってあなたを力づける。では、15節。

—エゼキエル 3:15—

私はテル・アビブの捕囚の民のところへ行った。…

これはバビロンのことです。現代のイラクであり、イスラエルのテルアビブではありません。

…彼らはケバル川のほとりに住んでいたが、私は彼らが住んでいるその場所で、七日間、茫然として彼ら

の中に座っていた。

なぜ七日間なのでしょう？ まあ、祭司職と準備の相関関係については、いろいろな考えがあるのかもしれませんが。しかし、これは神の恵みであり、憐れみだと私は思います。神はこの神の男に、この状況の重大さと激しさを処理する時間を与えておられるからです。私たちはそれを「静まる時」と呼びます。ああ、私たちの生活はうるさすぎるのです。うるさくて忙しい生活の音量を下げなければなりません。カポノの祈り方が気に入っています。実は、このことについては、「聖書預言アップデート」でお話しする予定です。日曜日の聖書預言アップデートのタイトルは、主の御心なら、「私たちは何に、なぜ気を取られているのか」多くのものが注意を引きつけ、マルタのように私たちをイエスから遠ざけてしまいます。私たちは静かで、小さな、精錬された聖霊の声を聞くことが出来ません。私たちの生活の忙しさが、とても大きな音を立てているからです。聖霊はまさにそのように語られます。だから、静まらなければなりません。ただ、静かに、座る時間が必要です。エゼキエルのことを公平に見て、彼はどれだけ驚いているのでしょうか。彼はこの幻から抜け出してきたばかりです。今、神は彼を召し、彼に力を与え、可能にし、彼に詳細な情報を公開されています。

「おお、ところで、えっと、これがあなたのミニストリーです。嘆き、破滅、憂い、災い、以上すべて。それどころか、あなたの話を聞こうともしません。彼らはわたしの言うことを聞かないので、あなたの言うことも聞かないからです。」そう、神は、私たちが状況を処理するために、そのような時間が必要だと知っておられます。それが、ここで神がエゼキエルのためになさっていることです。

—エゼキエル 3:16—

七日の終わりになって、次のような主のことばが私にあった。

—エゼキエル 3:17—

「人の子よ。わたしはあなたを...見張りとした。…」

これには理由があり、聞き覚えがあるはずですが、

...イスラエルの家の見張りとした。あなたは、わたしの口からことばを聞き、わたしに代わって彼らに警告を与えよ。

—エゼキエル 3:18—

わたしが、悪い者に『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪い者に悪の道から離れて生きるように警告しないなら、その悪い者は自分の不義のゆえに死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

—エゼキエル 3:19—

もしあなたが悪い者に警告を与えても、彼がその悪と悪の道から立ち返ることがないなら、彼は自分の不義のゆえに死ななければならない。…」

...しかし、あなたは自分のいのちを救うことになる。

その人の血は、彼らの血は、あなたの責任ではありません。二つ目の方法で、同じことを言っているのが20節です。

—エゼキエル 3:20—

また、正しい人がその正しい行いをやめて不正を行うなら、わたしは彼の前につまずきを置く。…」

つまずきにつまずかないように。これは、神がこう言っておられます。「わたしは彼のために明瞭な道筋を作らない。彼がこの道を選んだのなら、わたしは正しい道に進むよう強いることはしない。」



...わたしは彼の前につまずきを置く。彼は死ななければならない。あなたが彼に警告を与えなかったので、彼は自分の罪のゆえに死ぬ。彼が行った正しい行いは覚えられない。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。

補足的に言わせてもらおうと、悲しいことに、心が痛むのは、神に力強く用いられた人々が倒れ、良い終わり方をせず、彼らがしてきたことがすべて消えてしまったことが数多くあったことです。

「正しい行いは覚えられない」(エゼキエル 18:24)

何が覚えられるのでしょうか？ どうやって倒れたのか。何が覚えられないのか？ それまでに行っていたすべてのこと。それは、ただ、どうなんでしょう...当然ながら、私を立ち止らせます。

—エゼキエル 3:21—

しかし、もしあなたがその正しい人に、罪を犯さないように警告を与え、彼が罪を犯さないようになれば、彼は警告を聞いたのであるから、彼は必ず生き、あなたも自分のいのちを救うことになる。」

これは永遠の救いについて語っているのだと一瞬でも思っはけません。

「わたしは永遠を要求したり、奪い返すことはしません。」というのは、もしそうだとしたら、それはつまり、救いを失う可能性があるということだからです。「使徒の働き 20 章」の使徒パウロに聞いてください。パウロは言います。

「私はだれの血に対しても責任がありません。私は神のご計画のすべてを、余すところなくあなたがたに知らせたからです。」(使徒の働き 20:26,27)

「私はあなたに警告し、教えました。だから、あなたに責任があります。あなたの血の責任は私にはありません。あなたの責任です。私はすべきことをやりました。」

じゃあ、もしそれが意味のないことだとしたら、どんな意味があるのでしょうか？

「これはカネオへの道ではない」という町の看板のようなものです。とても役に立ちます。本当にありがとうございます。「これが道だ」という看板が必要です。ありがとうございます。何ですか？ それは私に何の役にも立ちません。そういう意味でないのならでは、どういう意味なのでしょう？ 私の考えはこうです。これを聖書的に裏付けることができます。誰かの血の責任を負わされることは、得られる可能性のある報酬を失うことであり、報酬が上げられることではありません。しかし、得られたはずの報酬は、もう得られないのです。それらは、あなたに課せられるでしょう。それらはあなたから取られます。いわば、あなたの口座から引き落とされます。理解できましたか？ そう願います。これが私の出来る最善です。先に進みましょう。25 節。24 節を終えましたっけ？ おいおい、またあなたの牧師が見失っていますよ。違います、22 節です！ほ～！

—エゼキエル 3:22—

その場所で主の御手が私の上にあった。主は私に言われた。「さあ、平地に出て行け。そこでわたしはあなたに語ろう。」

—エゼキエル 3:23—

私は平地に出て行った。すると、主の栄光が、かつて私がケバル川のほとりで見た栄光のように、そこにとどまっていた。それで私はひれ伏した。

エゼキエルのパターンが見えてきました。彼は再びひれ伏しています。

—エゼキエル 3:24—

それから、霊が私のうちに入り、私を自分の足で立たせた。主は私に語りかけられた。「行って、あなた



の家に閉じこもっていなさい。

ロックダウン。20 節。おっと、今度は戻っちゃいましたね。25 節です。

ーエゼキエル 3:25ー

人の子よ。今に人々があなたに縄をかけて縛るので、あなたは彼らのところに出て行けなくなる。

ーエゼキエル 3:26ー

わたしがあなたの舌を上あごに付かせるので、あなたは話せなくなり、あなたは彼らにとって責める者ではなくなる。彼らは反逆の家なのだから。

ここで変な気を起こさないように。皆さんの考えていることはよくわかります。私は神が彼らの舌を上あごにくっつけてくださるよう祈りたいです。口を閉じなければならず、喋らなくなるように。ああ、勘弁してください。ええ、もしかしたら、私だけです。でも、待ってください。何て？ 神がエゼキエルの口を閉ざされるので、沈黙せざるを得ないと？ そうです。これはどういうことなのでしょう？

さて、これも神の沈黙を説明し、示すための視覚的な預言の一つです。

「なぜなら、あなたがたは耳を傾けないからです。だからわたしは…」こういう言い方はしたくないのですが、うまく比較できないのですが、サイレント・トリートメント（無視）に近いです。ただ、黙っていること。何も言わない。何も話さない。

「実際に、わたしがあなたの舌を上あごにくっつけるので、あなたは話せません。」どうですか？ 繰り返しますが、変な気を起こさないでください。多くの奥様が好きでしょう...おっと、逆もまた然りで、奥様方、だから...おお、主よ、ただ彼の舌を上あごにくっつけて...27 節。最後にまとめます。

ーエゼキエル 3:27ー

しかしわたしは、あなたと語るときにあなたの口を開く。あなたは彼らに『神である主はこう言われる』と言え。聞く者には聞かせ、聞かない者には聞かせるな。彼らは反逆の家なのだから。

反逆の家だったという印象を受けますね？ なんと、ここで何度読んだことでしょうか。章は終わります。神は長く黙っておられるわけではありません。しかし、最後の教訓はこれです。主が話すべきことを明確にされない限り、何も言わないことが最善であることがよくあります。私は言わずに後悔したことはありません。私はいつも、自分が言ったことを後悔します。送らなかったメールを後悔したことはありません。送るべきでないのに送ってしまったメールには、いつも後悔します。送信を取り消すことはできません。一旦クリックしたら...携帯メールも同じです。そして、あなたが望んでいた相手には、メッセージが届きません。他の誰かに届きます。「あ〜…」神に感謝します。神は私に非常に憐み深く...若い子たちは...これで締めくくります。ここで良い感じで終わりますね。最近の子どもたちは、親指が電光石火の速さなんです。(高速でスマホを打つ) どうやってやってるんですか？ 私たちはこうですよ？ 共感してもらえるかな？ (人差し指でスマホを押す) 私は高校でタイピングを習いました。1 分間に 60 文字、2 回のエラー。私には対処しなければならないプライドがあって...ここに私がいて、キーボードがあります。昔のキーボードを覚えていますか？音がうるさいんです。あれに火をつけたいくらいです。(キーボードを激しく打つ音) その後、音声認識機能が登場しました。私は「マジ？」そして、次に出て来たのが...いや、その話にはいきたくありません。私はただ... (泣) いやあ、、沈黙を保つ。話さないでください。メッセージを送らないでください。メールを送らないでください。送るべき最高のメールは、送らないメールです。それは送ってはいけないメールだからです。よし、これで終わりです。カポノ、上がって来て下さい。お立ちください。祈りましょう。こういうスムーズな終わり方、締め方って好きじゃありません

か？ わお、でもそうですね？ ふ～！皆さんが私同様なら、そうだと思いますが、私は今、非常に罪を示されています。これはかなり、かなり厳しいですね。

しかし、神は。主よ、感謝します。天のお父さま、本当にありがとうございます。私たちは、エゼキエルのことを本当に知り始めています。私たちは、エゼキエルのことを本当に知り始めています。エゼキエルに感謝し、これを記録し、聖書に残すよう彼を駆り立ててくださりありがとうございます。エゼキエルに感謝し、これを記録し、聖書に残すよう彼を駆り立ててくださりありがとうございます。というのも、何世代も経った今になっても、現代の私たちにとっても適した内容で、ここから私たちが持ち帰ることができるものがたくさんあるからです。だから、主よ、今、あなたはこれを受け取り、あなただけがお出来になるように、聖霊によって、私たちの心に祝福を与え、私たちの生活に適用するプロセスを始めてください。私たちの生活の中で、これを現実のものにしたいからです。ここには沢山のものがあります。主よ、私たちが御言葉を食べ、味わい、あなたが良いお方であることを見、御言葉から私たちを養い、栄養を与えてくださって、本当に感謝します。今、主よ、私たちはただ、思い巡らせながら、その消化の過程を必要としています。主よ、感謝します。イエスの御名によって、アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7